

Report

2026.7・8

Table of Contents

1. チームリーダー挨拶
2. 大会結果報告
3. メカ班より
4. 電装班より
5. 制御班より

- Appendix –

- ご支援のご報告
- ご支援いただいている皆様の紹介

1. チームリーダー挨拶

平素よりお世話になっております。

大会も終わり、新体制に移行し2027年度大会への活動も始まった今日この頃です。

7月について、あまり覚えていないのですが(笑)、大会が8月頭だったこともあり、直前に試験期間がある中、チームとしてもなかなかハードなスケジュールだったように思います。もう少しできた！という部分こそあれ、無事に大会を終えられてホッとしております。

現在はキックオフミーティングの後代替わりをし、新チームリーダーの今井のもと設計を進めています。

チームリーダーも交代し、私がこの項を書くのも最後にはなりますが、今後ともUTFFをよろしくお願いいたします。

UTFF チームリーダー　石田 大耀

2. 大会結果報告

8月2日から7日にAichi Sky Expoで開催された学生フォーミュラ日本大会2026に、EVクラス（カーナンバーE04）で出場しました。大会期間中の日程変更によりEVクラスではエンデュランスと効率が実施されず、静的3種目・動的3種目の合計で順位が決定されました。弊チームはEVクラス総合3位（23チーム中）となりました。

種目別成績（EVクラス）

種目	順位	得点	ベストタイム
コスト審査	4位	41.87	–
プレゼンテーション審査	3位	70.63	–
デザイン審査	10位	65.2	–
アクセラレーション	2位	64.23	4.085秒
スキッドパッド	9位	40.73	5.252秒
オートクロス	2位	122.23	65.949秒
総合	3位	384.89	–

※総合得点はペナルティ（－20点）を含みます。エンデュランス・効率は未実施です。

受賞

賞	内容
TOP 3 Awards　3位	総合成績上位3チーム
オートクロス賞　2位	オートクロス上位3チーム
アクセラレーション賞　2位	アクセラレーション上位3チーム
プレゼンテーション賞　3位	プレゼンテーション審査上位3チーム
ベスト車検賞　2位	初回車検を最も少ない指摘で通過
スポーツマンシップ賞	スポーツマンシップ・運営・安全面の評価
日本自動車工業会会長賞	オートクロス完走チーム

2. 大会結果報告

EVクラス上位5チームの得点を比較すると、動的3種目（アクセラレーション・スキッドパッド・オートクロス）の合計は227.19点で、名古屋大学（300.00点）に次ぐ2位でした。一方、静的3種目（コスト・プレゼンテーション・デザイン）の合計は177.70点で上位5チーム中最下位であり、特にデザイン審査（10位）で上位2校との差が開きました。

4位の京都工芸繊維大学とは0.08点差でした。来年度に向けては、動的審査での更なる順位向上を目指しつつ、静的審査を強化することが、総合順位向上の鍵となります。

EVクラス上位5チームの得点比較

順位	チーム	総合	静的計	動的計
1	名古屋大学	586.98	286.98	300.00
2	名古屋工業大学	463.67	259.90	223.77
3	東京大学	384.89	177.70	227.19
4	京都工芸繊維大学	384.81	180.80	204.01
5	富山大学	353.61	181.54	172.07

※静的計＝コスト＋プレゼンテーション＋デザイン、動的計＝アクセラレーション＋スキッドパッド＋オートクロス。総合はペナルティを含みます。

出典：学生フォーミュラ日本大会2026 公式通知 No.4〜13（公益社団法人自動車技術会）

3. メカ班より

今年は8月2日から7日に学生フォーミュラ日本大会が開催されました。私は現在学部4年生で3回目の大会になるのですが、初めてのことが多く特に大変な大会だったと感じています。初日に海外チームのEV車両で火災が発生してしまい様々なイレギュラーが発生した結果、最終的にEVクラスはエンデュランス（約20km耐久走行）競技以外の開催となりました。そんな中でしたが、与えられた競技はすべて走り切りEV総合3位という結果を収めることが出来ました。スポンサーの皆様の日々のご支援・ご声援に心からお礼申し上げます。

今年のメカ的な取り組みとしては、フレームの微小な変更とフロントの足回りの変更、そして新規エアロ開発が主を成しました。昨年のコンセプトを踏襲しながらマイナーチェンジを施すことで、昨年格段に向上したパワートレインに釣り合うだけのシャシー性能を実現したいというのが個人的な思いでしたが、進歩と課題がともに見てとれる年になりました。

3. メカ班より

自分の担当したサスペンションでは、昨年検討不足だったポイントを確実につぶすとともに、リアヘビーというマシンコンセプトに沿ったある種アドホックな足回りを目指しました。実際の車両や部品を用いた試験も増やしたことで検討レベルはかなり向上したと認識しています。しかしながら、初歩的な設計ミスで狙ったレンジを使うことができなかったり、製作精度の低さに悩まされたりと想定通りに上手くいかない部分も多くありました。

新たに始めたエアロ開発では、ほぼ全く知見のない状態からスタートしフロントウイングの設計・製作に取り組みました。試験的なウイングを載せた走行も行いましたが、本番用のウイングで製造上の問題が生じ、大会でマシンに搭載する事は叶いませんでした。とはいえ初年度の開発で得られたノウハウも大きく、今年の取り組みは来年以降に必ず生きてくるはずです。

今年の反省を踏まえて今後に必要だと考えている事を端的に述べると、早期シェイクダウンを達成出来るマネジメント力、実車を使った検討・検証の充実、全体的な製作精度の向上などが挙げられます。これらの質は決して一朝一夕に激変するものではないので、少しずつ長期的な目で改善していきたいです。

3. メカ班より

こうした課題に直面しつつも、大会の結果を見るとチームが成長しているのは間違いないと思います。オートクロス（コース一周タイムアタック）とアクセラレーション（直線加速）では2位、動的種目全体でも2位と速さが求められる種目で確実に順位を延ばすことが出来ています。それ以上にポジティブな要素は、今年はメカ班に多くの新入生が入ってくれたということです。わからないことがまだ多いであろう彼らも既に来年のマシンの設計を始めており、重量や剛性、ダウンフォースによるタイムゲインとトレードオフなど、車両運動の基礎から検討しようとしているのを見ていると心強く感じています。現在のシャシーの出来を考慮すると、検討のレベルが少し上がるだけでもかなりのポテンシャルアップならびにデザイン審査の点数向上につながると思われ、今後に大いに期待できます。

来年のマシンは4輪インホイールモーターという新たなパッケージを目指し、大変革を迎えると聞いています。自分が築いたものを出来るだけ後輩に受け継ぎつつ、新たな挑戦を見守りたいと思います。

メカ班　4年　川口

3. メカ班より



会場（セントレア）から対岸の知多半島



車検中



エースドライバー新原のアタック

4. 電装班より

皆様いつもお世話になっております、電装班の高橋です。

先日学生フォーミュラ日本大会2026を無事に終えることができ、はやくも来年度に向けて様々に構想を練ったり試作をしたりしているところです。チームの体制としましては来年も私が引き続き電装リーダーを務める一方、（一部メンバーは制御班との掛け持ち・中間的な役割となるものの）3人の新入メンバーを仲間に迎えて進行してまいります。スポンサーの皆様におかれましては彼らの活躍もぜひ応援していただければ幸いでございます。

電装班としての大会の振り返りを申し上げますと、本年度はチームの開発キャパシティーの不足からほぼ前年度から構成を維持したものの、電装に関わる大きなトラブルなくEV車検および動的種目を突破できたのは基本でありながら大切な成果だと考えております。EV車検については後輩の今井君が中心となって対策を進めてくれたおかげでスムーズに進行することができました。また、将来に活きる活動として、いちエンジニアでありながらコースウォーク（主にドライバーがコースの上を歩いて下見をする時間）に何度も出向いて高精度GPSシステムを使ったコースのほぼ完全な測量ができたのは収穫と言えると思います。単に本番の

4. 電装班より

コース上で電波状況にシビアな高精度GPSシステムの動作が確認できたことだけでなく、このデータを使うことで来年以降車両にコース上の位置を認識させてドライバーを補助する形での自動制御を導入することも視野に入れられるという価値があるのです。

　さて、UTFFでは来年に向けて電装面で大きなアップデートを計画しております。具体的にはチーム設立時からのロードマップで最終目標と位置付けられてきた4輪独立アウトボードモーターを実装し、さらにそのモーター・インバーターをチームオリジナルとすることが大きな目標となっています。また、これらを駆動するバッテリーもそれに合わせたスペックのものに変更し、車両全体を制御するコンピューターは軽量でブラックボックス領域の無い自作コンピューター基板へ置き換える予定です。このようなアップデート、しかも大半を自作する試みは国内の学生フォーミュラでは例がなく、UTFFの唯一無二の能力をアピールする年にできればと考えております。このような大規模なアップデートを完遂すべく、2026年大会の前から水面下で計画を進めており、大会後はより精力的に開発に取り組んでおります。

4. 電装班より

現状ではどのプロジェクトも道半ばですが、チームの全員が安心して各々の開発に取り組めるよう、夏休みの終わり頃には私のアップデート計画が信頼に足ることを証明できることを目標としております。一方で私ももう来年で学部4年であり、後輩への引継ぎも急務だと感じております。これまで私が開発をリードしてきた部分が大きいのですが、チームとしての成長が持続可能なものになるよう意識して取り組んでいきたいと考えております。今年はマシンの様々な部分を作り変える年だからこそ、うまくやれば後輩たちにとって大きな学びを得られる年になるでしょう。実際に私も学生フォーミュラに大きくのめりこんだきっかけは2年前の製作期に先輩と2人で中心になって作業を進めたことであり、今度はこの楽しさを後輩に伝えていく番だと感じております。ぜひとも長く続く強いチームを作っていきたいと思います。

最後になりますが、2026年大会までの1年間走り続けてこられたのはいつもご支援いただいている皆様のおかげです。大変ありがとうございます。来年に向けて大規模な開発をするにあたって様々な資材が必要になることかと思いますが、私たちの開発を見守っていただければ幸いでございます。

電装班　3年　高橋昂大

5. 制御班より

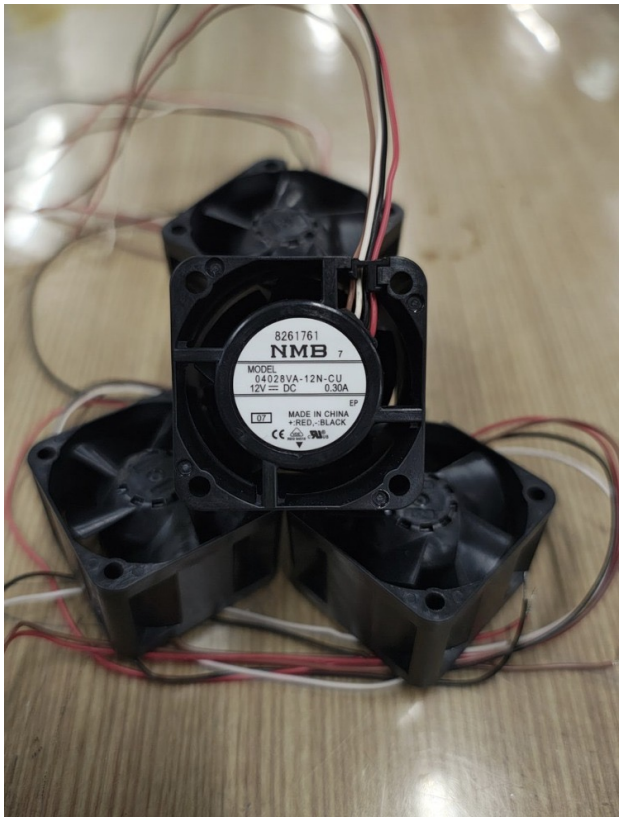
制御班の今井です。今年の大会は前年よりひと月前倒しとなった影響か、EVクラス、ICVクラスともにトラブルが生じ、大会スケジュールが途中から大きく変更されてしまいました。EVクラスのトラブル後一時は動的種目が行われるか分かりませんでしたが、大会運営や消防の皆様のご尽力でオートクロス審査は行われました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。動的審査の際には直前にマシントラブルが発生し焦りましたが、応急処置を施して出走でき、総合3位となりました。エンデュランスがあればもっと上位に・・・と言いたいところですが、オートクロスの二人目のドライバーの走行時にトルク制御のトラブルが発生していたので、その点では救われてしまったかもしれません。また、ドライバーの力量に左右されやすいオートクロスでは好タイムを残せたものの、マシンそのものの性能差が出やすいアクセラレーションでは軽量かつトラクションコントロールに優れる上位校に引き離されました。制御班の力の差が出たと感じます。

5. 制御班より

来年はフレームを作りなおすだけでなく、四輪駆動化を含め変更点の多い年になる予定で、制御班にとっても課題の多い一年になりそうです。マシンの仕様が大きく変更され、さらに今年はなかったエンデュランスまで走行するとなると、大会までに故障やその他トラブルへの対策を済ませることは一層大変になりそうですが、実りのある年になるよう準備を進めてまいります。平素より弊チームをご支援いただいている皆様、引き続きよろしくお願いいたします。

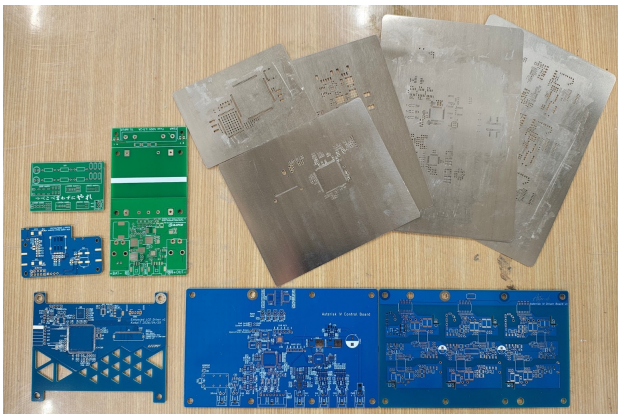
制御班　2年　今井康介

ご支援のご報告



　ミネベアミツミ株式会社様よりファンモーターのご支援をいただきました。様々な電装品の冷却に活用させていただいております。

　この度はご支援いただきありがとうございました。



　JLCPCB様より開発用のプリント基板をご支援いただきました。発注後の基板形状の変更にも迅速にご対応いただき、将来に向けた技術開発に活用させていただいております。

　この度はご支援いただきありがとうございました。

ご支援のご報告

大会期間中は、スポンサーの皆様より食料品をはじめ様々な差し入れをいただきました。チーム一同、大きな励みとなりました。

温かいご支援、誠にありがとうございました。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

UTFFの活動は、スポンサーの皆さまをはじめとした、数多くの方々からの温かいご支援によって成り立っております。
以下にご紹介いたします。

Premium Sponsors

以下は、特に大きなご支援を頂いております方々です。

MITOLOY

水戸工業株式会社様

工具および活動資金を
長年にわたってご支援いただいております。

Kawasaki
Let the Good Times Roll

カワサキモータース株式会社様

活動資金をご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

UTFFの活動は、スポンサーの皆さまをはじめとした、数多くの方々からの温かいご支援によって成り立っております。
以下にご紹介いたします。

Premium Sponsors

以下は、特に大きなご支援を頂いております方々です。

株式会社サンクト
SANCT CORPORATION

株式会社サンクト様

活動資金をご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

CQ出版株式会社様
技術的なご支援をいただいております。

株式会社デンソー様
モータ・インバータをご支援いただいております。

株式会社共創様
バッテリーをご支援いただいております。

アナログ・デバイセズ株式会社様
バッテリーマネジメントシステム(BMS)をご支援いただいております。

マテックス株式会社様
減速機をご支援頂いております。また、減速機ケースの設計にご協力いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

株式会社テクトロニクス&フルーク様
計測機器等のご支援をいただいております。

SpaceAIR株式会社様
サーバ関連のご支援をいただいております。

dSPACE Japan 株式会社様
制御器と開発環境のご支援をいただいております。

株式会社高砂製作所様
バッテリ、モータ・インバータ試験用電源をご支援いただいております。

有限会社アルマジロ様
協賛金のご支援をいただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

日本精機株式会社様
アクセルペダルセンサのご支援をいただいております。

株式会社センサータ・テクノロジーズジャパン様
イナーシャスイッチのご支援をいただいております。

太平洋精工株式会社様
EV向けヒューズをご支援いただいております。

株式会社プロテリアル様
強電配線をご支援いただいております。

矢崎総業株式会社様
高電圧回路のHVDをご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

イサムエアーゾール工業株式会社様
スプレー塗料ならびプラサフを無償にてご支援いただいております。

NOK株式会社様
オイルシール、Oリングをご支援いただいております。

株式会社エンジニア様
工具および関連製品をご支援いただいております。

株式会社キノクニエンタープライズ様
配管系の各種部品を支援価格にてご支援いただいております。

ジュニアモーターパーク
クイック羽生様
走行場所をご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

株式会社コトラ様
資金をご提供いただいております。

株式会社小松製作所様
資金をご提供いただいております。

サウスコ・ジャパン株式会社様
クイックファスナーをご提供いただいております。

三協ラジエーター株式会社様
ラジエーターをご支援いただいております。

株式会社GSユアサ様
鉛バッテリーをご提供いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

住友電装株式会社様
コネクタ及び電線をご提供いただいております。

デュポン・スタイロ株式会社様
スタイロフォームをご提供いただいております。

THK株式会社様
ロッドエンド及び給油製品をご提供いただいております。

株式会社ディクセル様
ブレーキフルード及びキャリパ温度シールをご提供いただいております。

株式会社テイン様
スプリングをご提供いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

株式会社東鋼様
特殊エンドミルをご提供いただいております。

Astemo株式会社様
ブレーキキャリパー・マスターシリンダーなどをご提供いただいております。

東京大学生産技術研究所
変形加工学研究室様
ハブの加工をご支援いただいております。

株式会社冨士精密様
ゆるみ止め機能を持つ「U-NUT®」をご提供いただいております。

東京大学大学院工学系研究科
国際工学教育推進機構
ものづくり部門様
マシニングセンタや3Dプリンタなどの先端機器を利用した部品作りをご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

学校法人豊国学園

学校法人 豊国学園様
活動にご協力いただいております。

Roland

**ローランド ディー.ジー.
株式会社様**
マシンに貼付するデカールをご支援いただいております。

シゲマツ

株式会社重松製作所様
防じん・防毒マスクをはじめとする保護具をご支援いただいております。

METAL BENDING SINCE 1998
K-TECH

ケイテック株式会社様
メインフープ・フロントフープの曲げ加工をご支援いただいております。

株式会社 石川インキ

株式会社石川インキ様
FRP用のポリエステル積層樹脂および硬化剤をご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

オートデスク株式会社様
Fusion360を中心に技術的なアドバイスをいただいております。

株式会社アイシン様
ウォーターポンプをご支援いただいております。

株式会社和光ケミカル様
製作に活用する潤滑油や脱脂剤をご支援いただいております。

日本精工株式会社様
ベアリング各種をご支援いただいております。

株式会社プロトラッド様
IMDをご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

IPG Automotive株式会社様
シミュレーションソフトをご支援いただいております。

アクサルタコーティングシステムズ合同会社様
ウレタン塗料をご支援いただいております。

株式会社深井製作所様
エンブレラをご支援いただいております。

株式会社三ツ輪ビジネスソリューションズ様
ポータブル電源機器等をご支援いただいております。

オーゼットジャパン株式会社様
マシンに装着するホイールをご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

ユメックス株式会社様
活動資金をご支援いただいております。

サンフレックス株式会社様
フレキシブルシャフトをご支援いただいております。

株式会社ミスミグループ本社様
車両整備に使用する工具をご支援いただいております。

白銅株式会社様
非鉄金属をご支援いただいております。

イーエムワークス・ジャパン株式会社様
電磁場解析ソフトをご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

スナップオン・ツールズ株式会社様
絶縁手袋をご支援いただいております。

榎本機工株式会社様
活動資金をご支援いただいております。

東芝デバイス＆ストレージ株式会社様
活動資金・回路素子をご支援いただいております。

日圧総業株式会社様
低電圧コネクタをご支援いただいております。

甲神電機株式会社様
電流センサーをご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

株式会社新日本創研様
ウィングの型の加工をご支援いただいております。

株式会社アウティスタ様
ヘルメットの購入をご支援いただいております。

サカイオーベックス株式会社様
カーボンクロスをご支援いただいております。

STマイクロエレクトロニクス株式会社様
マイコンや開発ボードをご支援いただいております。

オムロン株式会社様
光電センサーをご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

JLCPCB様
プリント基板を無償で製作していただいております。

株式会社信濃工業様
開発テスト用のCFRPパイプをご支援いただいております。

3Dコネクション株式会社様
CadMouseをご提供いただいております。

株式会社中央図研様
熱マネジメントシミュレーション「KULI」を無償提供いただいております。

日本先端工科大学(仮称)設置準備委員会様
走行場所をご提供いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Sponsors

以下は、活動にご支援いただいている方々です。

日置電機株式会社様
バッテリハイテスタをお貸し出しいただいております。

日野自動車株式会社様
走行場所をご提供いただいております。

ミネベアミツミ株式会社様
空冷用のファンモーターをご支援いただいております。

リゴルジャパン株式会社様
オシロスコープをご支援いただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Special Supporters

以下は、活動にご協力いただいている方々です。

スズキ株式会社様
技術的なアドバイスをいただいております。

関東工業自動車大学校様
ダイナパックを用いたテストに関して
ご協力いただいております。

ネッツトヨタ富山株式会社様
活動にご協力いただいております。

株式会社マルミツ様
活動にご協力いただいております。

MathWorks Japan 様
東大MATLABアンバサダー様に
ご協力いただいております。

東京大学　生産技術研究所
試作工場様
各種加工のご支援をいただいております。

ご支援いただいている皆さまのご紹介

Special Supporters

以下は、活動にご協力いただいている方々です。

株式会社ヤマテ工業様
活動にご協力いただいております。

一般財団法人 日本自動車研究所様
走行場所をご提供いただいております。

株式会社MCOR様
マシンの設計やシミュレーションについてアドバイスをいただいております。